

【参考文献】（副題は省略）

- 相田二郎『小田原合戦』（復刻版、小田原文庫1）名著出版、一九七六年  
朝倉直美・黒田基樹編『北条氏康の子供たち』宮帯出版社、二〇一五年  
有光友學『今川義元』（人物叢書254）吉川弘文館、二〇〇八年  
粟野俊之『織豊政権と東国大名』吉川弘文館、二〇〇一年  
池享『東国の戦国争乱と織豊権力』（動乱の戦国史7）吉川弘文館、二〇一二年  
池上裕子『北条早雲』（日本史リブレット人042）山川出版社、二〇一七年  
今谷明『武家と天皇』（岩波新書286）岩波書店、一九九三年  
岩崎宗純『中世の箱根山』（箱根叢書28）神奈川新聞社、一九九八年  
大野太平『房総里見氏の研究』（復刻版）千葉県郷土資料刊行会、一九七二年  
奥野高広『武田信玄』（人物叢書19）吉川弘文館、一九五九年  
小和田哲男監修『奔る雲のごとく』北条早雲フォーラム実行委員会、二〇〇〇年  
勝守すみ『長尾氏の研究』（関東武士研究叢書6）名著出版、一九七八年  
北島正元『徳川家康』（中公新書17）中央公論社、一九六三年  
久保健一郎『中近世移行期の公儀と武家権力』（同成社中世史選書23）同成社、二〇一七年  
黒田基樹『戦国大名北条氏の領国支配』（戦国史研究叢書1）岩田書院、一九九五年  
同『扇谷上杉氏と太田道灌』（地域の中世1）岩田書院、二〇〇四年  
同『戦国の房総と北条氏』（地域の中世4）岩田書院、二〇〇八年  
同『戦国関東の覇権戦争』（歴史新書y017）洋泉社、二〇一一年  
同『戦国期山内上杉氏の研究』（中世史研究叢書24）岩田書院、二〇一三年  
同『戦国大名』（平凡社新書713）平凡社、二〇一四年  
同『北条氏政』（ミネルヴァ日本評伝選）ミネルヴァ書房、二〇一八年  
小林清治『伊達政宗』（人物叢書28）吉川弘文館、一九五九年  
齋藤慎一『中世東国の領域と城館』吉川弘文館、二〇〇二年  
同『戦国時代の終焉』（中公新書1809）中央公論新社、二〇〇五年  
佐々木銀弥『中世の商業』（日本歴史新書増補版）至文堂、一九六六年  
佐藤進一『花押を読む』（平凡社選書124）平凡社、一九八八年  
佐藤博信『古河公方足利氏の研究』（歴史科学叢書）校倉書房、一九八九年  
佐脇栄智『後北条氏の基礎研究』吉川弘文館、一九七六年  
同『後北条氏と領国経営』吉川弘文館、一九九七年  
佐脇栄智編『後北条氏の研究』（戦国大名論集8）吉川弘文館、一九八三年  
柴辻俊六『信玄の戦略』（中公新書1872）中央公論新社、二〇〇六年  
杉山博『戦国大名後北条氏の研究』名著出版、一九八二年  
中田正光『最後の戦国合戦「小田原の陣」』（歴史新書y058）洋泉社、二〇一六年  
中村吉治『近世初期農政史研究』（第二刷）岩波書店、一九七〇年  
藤木久志『豊臣平和令と戦国社会』東京大学出版会、一九八五年  
同『雑兵たちの戦場』朝日新聞社、一九九五年  
牧野純一『後北条氏民政史論』（復刻版）文献出版、一九七七年  
森幸夫『小田原北条氏権力の諸相』（日本史史料研究会研究叢書5）日本史史料研究会、二〇一二年  
山田邦明『戦国のコミュニケーション』吉川弘文館、二〇〇二年

〔史料集等〕

- 甲斐志料集成刊行会編『甲斐志料集成』四、歴史篇(一)(復刻版) 歴史図書社、一九八一年
- 久保田昌希他編『戦国遺文 今川氏編』一～五、東京堂出版、二〇一〇～一五年
- 黒田基樹他編『戦国遺文 房総編』一～四・補遺、東京堂出版、二〇一〇～一六年
- 小林計一郎校註『真田史料集』(第二期戦国史料叢書2) 人物往来社、一九六六年
- 佐藤博信編『戦国遺文 古河公方編』東京堂出版、二〇〇六年
- 信濃史料刊行会編『信濃史料』一～一七(訂正重刊)、信濃史料刊行会、一九六八～六九年
- 柴辻俊六他編『戦国遺文 武田氏編』一～六、東京堂出版、二〇〇二～〇六年
- 杉山博他編『戦国遺文 後北条氏編』一～六・補遺・別巻、東京堂出版、一九八九～二〇〇〇年